

GRASS ROOTSに 名を刻め!

— RESPECTから始める冒険 —

その54 (R05.09.01)

～ 全国学力・学習状況調査の結果 その1 ～

本調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」と記されています。本調査の対象学年は、国・公・私立学校の小学6年生、中学3年生です。

本校でも、6年生が4月18日に本調査を実施しました。7月末にその結果が返却されました。本調査の結果から得られた課題をもとに、本校でも授業改善にいかしていきます。

1 全国学力・学習状況調査結果の概要

(1) 国語

- 全体として、全国の児童と比較して、正答率は同程度でした。
- 内容では、「書くこと」で、全国の児童と比較して、とても高い正答率でした。「言葉の特徴や使い方に関する事項」で、やや課題が見られました。
- 問題形式では、「記述式」で、全国の児童と比較して、とても高い正答率でした。今までの本校で見られた課題に関する授業実践が、成果として表れました。

(2) 算数

- 全体として、全国の児童と比較して、やや高い正答率でした。
- 領域では、「数と計算」、「データの活用」で、全国の児童と比較して、高い正答率でした。「図形」で、やや課題が見られました。
- 問題形式では、「記述式」で、全国の児童と比較して、とても高い正答率でした。今までの本校で見られた課題に関する授業実践が、成果として表れました。

2 成果

(1) 国語

◎問題1二、1三(1)ア、2四、3三

「空欄に学校の米作りの問題点を解決方法を書く」、「漢字を使って書き直す」、「運動と食事の両方についてわかったことをもとに、自分のできそうなことをまとめて書く」、「どのような思いでボランティアを続けているかについて、分かったことをまとめて書く」において、全国の児童と比較して、とても高い正答率でした。

(2) 算数

◎問題3 (1) (2) (3)、4 (3)

「2種類の辞典を全部並べた長さを求める2つの式について、それぞれどのようなことを表しているかを選ぶ」、「3種類のファイル23人分全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかを判断する」、「次の式 $(151 + 49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める」、「2つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く」において、全国の児童と比較して、とても高い正答率でした。

3 課題

全国学力・学習状況調査結果から得られた課題の一部を紹介します。

(1) 国語

▲問題2二 【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する。

出題の趣旨 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。

▲問題3二 敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する。

出題の趣旨 日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる。

問題2一二から、目的を意識して、中心となる語や文を要約したり文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付けたりすることに課題が見られました。

(2) 算数

▲問題2 (3) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く。

出題の趣旨 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

▲問題2 (4) テープを直線で切ってできた2つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く。

出題の趣旨 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

この2つの問題などから、「図形」の領域において、やや課題があることがわかりました。

☆お知らせ☆

「全国学力・学習状況調査 問題」で検索すると、国立教育政策研究所のWEBページに、調査問題・正答例・解説資料があります。参考にしてください。